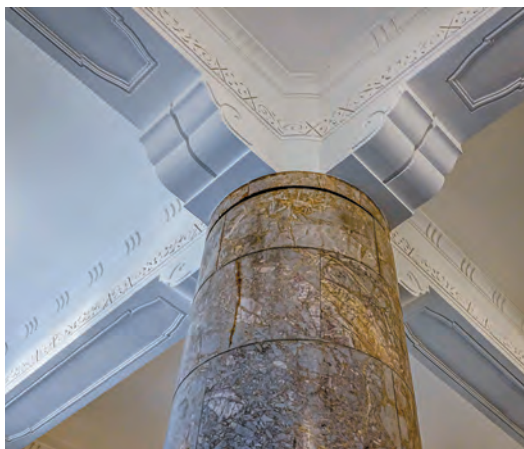


# 京都市京セラ美術館 本館



天井部には優美な漆喰細工が施されている



柔らかな光が差し込む階段



照明等も往時のものが極力復原されている

京都市京セラ美術館本館は、昭和8年（1933年）、昭和天皇即位の礼を記念し、「大礼記念京都美術館」として開館した。現存する公立美術館としては、日本最古の建物である。

建物のデザインは、京都という土地柄もあり、「日本趣味を基調とすること」を要件としてコンペが開かれ決定された。採用されたのは、当時多くの建築コンペで当選を果たし、「コンペの前健」の異名をとった前田健二郎の設計だった。

鉄骨鉄筋コンクリート2階建ての頑丈な洋風の躯体のうえに、和風の屋根を冠した「帝冠様式」と呼ばれる建築の代表的もののひとつである。

第二次大戦後、GHQの接収を経て京都市美術館と名前を改めた後も、長く京都市民に愛されたが、設備の老朽化や耐震構造への改修等のため平成29年（2017年）一時閉館する。ほぼ2年にわたる改修、京セラ株式会社とのネーミングライツ契約締結を経て、令和2年（2020年）、京都市京セラ美術館という新たな通称を得てリニューアルオープンされる。

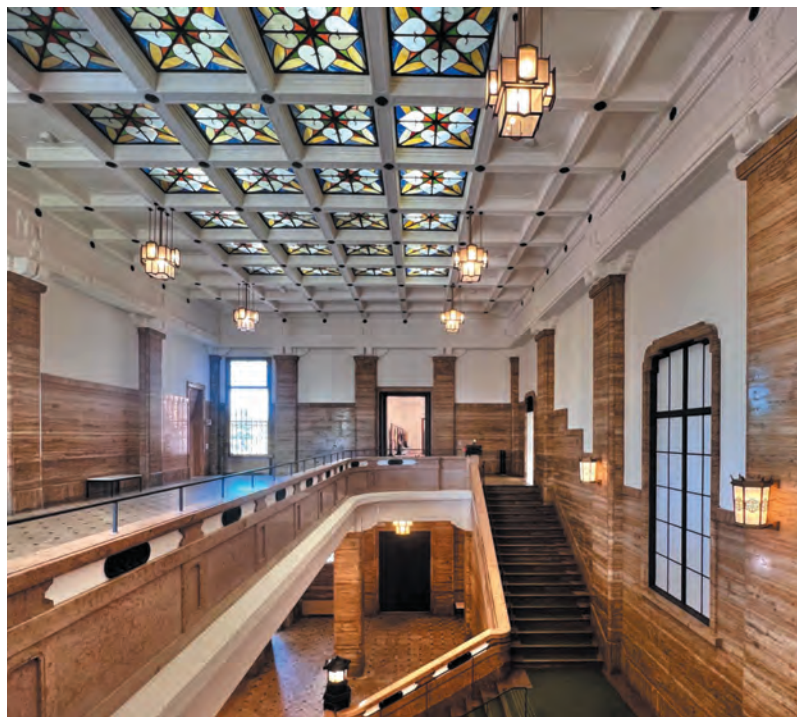
リニューアルにあたり、最新の設備を備えた展示室の「東山キューブ」や、エントランスの左右に、ショップなどを内包した「ガラス・リボン」などが新設された。

しかし、改修を担当した2人の建築家、青木淳と西澤徹夫は「像を重ねていく美術館」をコンセプトに、創建時の建物の美し





ステンドグラスが美しい  
旧正面玄関である西玄関広間



(写真協力 ARCHI.Mania)

#### DATA

名 称	京都市京セラ美術館 本館
所在地	京都市左京区岡崎円勝寺町124
完 成	昭和8年
設計者	前田健二郎

さの保存、復原にも力を入れた。  
特に、東西南北4箇所の広間では、特徴的な壁の大理石や天井の漆喰細工、各部の照明などに、当時の佇まいが残されている。西広間2階吹抜けのステンドグラスは、雨漏り対策のため光が入らなくなっていたが、改修により往時の美しさを取り戻した。

令和2年8月、本館などが国の登録有形文化財に指定された。